

山下金物ガス器具 ご使用開始にあたって

■ガス器具に合ったガスをご使用ください

プロパンガスと表示のあるガス器具

家庭用低圧プロパンガス専用です。ご家庭でガス器具を接続しているプロパンガスの元栓、もしくは、低圧のガス圧調整器の付いたプロパンガスボンベに接続してご使用ください。(中圧・高圧のガスボンベに接続するとガス漏れをおこして、そのガス器具は使えなくなるとともにガス漏れにより爆発につながる場合がありますのでご注意ください。)接続は、プロパンガス用ガスホース(9.5mm)でおこないます。

天然ガスと表示のあるガス器具

12A/13Aのガス種の都市ガス専用です。12Aまたは13Aの都市ガス以外では使えません。都市ガスの種類はガス会社により異なりますので、ガス種が不明の場合は、お使いのガス会社にお問い合わせください。

ガスの元栓には、9.5mm用と13mm用があります。

一般的な家庭用元栓は9.5mm用で、ガスホースを直接つなぐ元栓とカチットでつなぐ元栓があります。

13mmの元栓は主に業務用で使われるガス容量の大きなタイプです。

<ガス元栓の形状>



9.5mmのホースエンドが付いたガス器具は、9.5mmの元栓に、13mmのホースエンドの付いたガス器具は13mmの元栓に必ず接続してください。

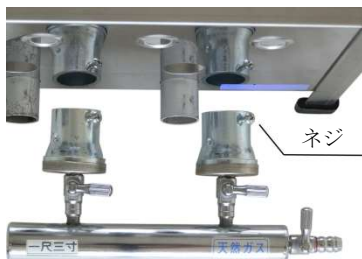
(異形ソケットなどで本来とは異なるガス元栓に接続してもガス容量の問題でガス器具が正常に働かないおそれがありますのでお止めください。)

ホースエンド寸法はガス器具ごとに異なりますので、事前にホースエンド寸法をご確認の上、適合する元栓がない場合はガス供給業者にご相談の上、適合する元栓を使用してください。

■前管を取り付けてください

輸送途上の破損を防ぐため、多くの商品は前管を取り外した状態でお送りしております。商品がお手元に届きましたら、前管を取り付けてください。

(図1)



(図2)



<手順1>前管のネジを弛める(図1参照)

<手順2>前管を本体のバーナー先端に差し込む。(図2参照)

[注1]レギュレーターをコックにきつく締め付けないでください。レギュレーターを締め付けすぎるとコックに過剰な力がかかり、コックの付け根(手前のパイプとの継ぎ目)からガス漏れを起こす心配があります。レギュレーターはコックに軽く締め付けた状態から半回転程度緩めた状態にし、空気調整の窓が軽く動く程度で使用してください。

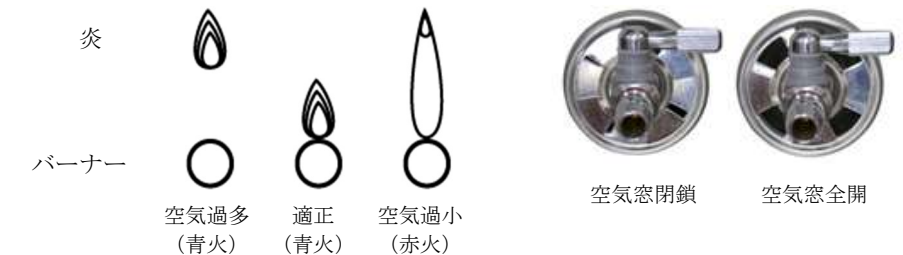
[注2]前管は、バーナー先端がレギュレーター内の突起に軽く当たる程度まで差し込んでください。バーナー先端が、レギュレーターに2cm程度入るぐらいです。器具本体から突き出ているバーナー先端が、すべてレギュレーターに隠れる必要はありません。また、レギュレーター口径が本体バーナー径より大きく、すき間があきますがこれはガスと空気を混合するために必要なすき間ですのでガス漏れの心配はありません。

<手順3>前管のネジを締める。

[注]前管がバーナーに固定されます。固定されないときは、前管の差し込み方が不足していますので、再度1からやり直してください

■空気を調整してください

ひとまず空気調整の窓を全て閉めた状態で火を付け炎の状態を見ながら、必要に応じて窓を少しずつ開けてください。



■火の走りが悪い場合

- 1) 鉄板やたこ鍋など付属品は取り付けてから点火してください。
- 2) 点火しようとするバーナーのコックを開きガスが流れ出してからすみやかに点火してください。
- 3) 空気調整をやや閉めてください。(特に天然ガスの場合は完全に閉めたくらいが適当です)